

2019年（令和元年）「入園式」を開催！



～元号の決まった日の「入園式」。一生の思い出になったのではないのでしょうか！～



4月1日（月）、午前10時より「入園式」を遊戯室で開催しました。

9時30分ごろから、真新しい幼稚園の制服に身を包んだ「新園児」が、お父さん・お母さんと一緒に園の門をくぐりました。

元気いっぱい笑顔で「受付」を済ませる子、お父さんやお母さんの手を握り不安そうに受付を待つ子など様々です。受付で胸にリボン（胸章）をつけてもらい、式場となる2回の遊戯室へ。でも、初めて幼稚園に来る子はまだ不安そうで、お母さんに抱っこされています。



10時になり式が始まりました。初めに、

本園園長より「あいさつ」がありました。子供たちには、「お母さんに会いたくなった時、トイレに行きたくなった時などには、『先生！』と呼ぼうね。園では、先生がお母さんになります。抱っこしてほしい時なども、言えば抱っこしてくれます。だから元気に遊ぼうね。」という話が、保護者の方には、「今までご家庭で子育てをしていて、今日から幼稚園へ。不安に思うことも多いと思いますが、子供たちに寄り添ったしっかりとした保育活動を行っていきますので、ご協力をお願いします。」という旨の話がありました。



次に、「お祝いのメッセージ」が披露された後、「教職員紹介」がありました。理事長・園長先生などの自己紹介の後、各組を担当する先生一人ひとりが、組や名前の他、「子供たちからは〇〇先生と呼ばれています。運動が大好きなので、鬼ごっこなどで子供たちと一緒に



に外で遊びたいと思います。」などと簡単な抱負などを述べました。緊張の中にも、先生方の「やる気満々」の自己紹介で少しずつ和やかな雰囲気になっていきました。入園式の後、子供たちは担当の先生と一緒に各クラス（お部屋）に移動しました。お父さん・お母さんと別れるのがつらく、泣き出す子も多くいましたが、先生方がうまくリードして





全員がクラスに入ることができました。
子供たちが各クラスでおやつを食べたりしている間、保護者の方を対象に入園のオリエンテーションがありました。

その中で行った「園長のあいさつ」を紹介したいと思います。あいさつの中で特に強調していたのは、

次の2点でした。

1点目は「3歳児は、まだ『自己中心』の年齢なので、『友だちをいじめない』という感覚はない。何も考



えずにになってしまうことがあるので、気になったり心配になったりした場合は、まず先生に相談してほしい。」ということ。2点目は「高ノ台幼稚園は、『褒めて、子供に自信を持たせる』という方針のもとで教育活動を行っている。一例を挙げれば、運動会やクリスマス発表会などでは子供たちが運営面でも参加している。『競技紹介や用具の出し入れなど、自分の係をやりきるこ



とが自信につながり、その自信が次への活動のエネルギーとなる』という信念のもと、園の伝統として実施している。」ということです。

オリエンテーションの後は、「担任の先生を中心とした各クラスでの懇談会」があり、その後クラスごとに記念撮影を行いました。



園児たちが日々成長していくとても大切な時期です。保護者の皆様と一緒に健やかな成長の手助けができればと願っております。今後とも、園の保育活動に対するご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

[写真] (一番上)受付でリボンをつけてもらいました。少し緊張気味です。(2段目・3段目)式が始まる前。お母さんから離れられない子もいました。(4段目)式が始まると、きちんと椅子に座ることができました素晴らしいです。(5～7段目)「やる気満々」先生方の自己紹介の様子。(8段目)保護者対象のオリエンテーションの様子。(一番下)幼稚園のオールスタッフです。職員一同、心を一つにして充実した保育活動を行っていきます！

※今回は、個人情報の保護の観点から園児の写真にはモザイクをかけてあります。